

七尾みなと ロータリークラブ



クラブテーマ「ブラッシュアップ ロータリー」 <姉妹クラブ>カーメル・バイ・ザ・シーRC
<友好クラブ>あづみ野RC

第1387回例会 2015年9月8日(火)18:30開会点鐘 於 料理旅館 七尾城



月見の夜間例会

第1386回例会(9/1)報告

進行：徳永 SAA

◎開会点鐘

◎「ロータリーの目的」 鳥畑 職業奉仕小委員長

◎会長挨拶 木下敬夫 会長

本日も多くの会員の出席を頂き大変ありがとうございます。今回の会長挨拶は、先週の私の市議会議員としての活動の話をします。まず、8月27日は石川北部RDF広域処理組合議会に出席しました。津幡町以北12市町の首長と18名の議員で構成されています。今議会では平成26年度歳入歳出差し引き約8000万円の決算余剰の決算を承認可決しました。これはRDF燃焼で発電した電力を1kwあたり19円で北陸電力に売っていることが大きく貢献しています。またこのRDF施設の計画終了年度予定を平成29年から5年間延長して平成34年度として、その後は七尾市では焼却炉建設をします。28日はかほく市以北の能登5市議員研修会に出席しました。今野修平先生を講師に招き、能登半島振興と北陸新幹線と能越自動車道をどう活かしていくかなどお話を頂きました。全国各自治体は国の地方創生の方針に従って向こう5年間の総合戦略を今年度中に策定いたします。何とか人口減少に歯止めをかけ持続可能な七尾にしていきたいものです。そして30日は石川県議会第108代副議長に就任された西田昭二氏の就任披露パーティに出席しました。当クラブメンバーも多数参加されておりました。ご苦勞様でした。6回の選挙を戦い家族にも多大な負担をかけたが七尾・能登・石川県の発展のために頑張る決意を述べられました。今後の活躍を期待します。

本日は新会員の長さんの卓話、とても楽しみにしていますので宜しくお願いします。

◎幹事報告 中出 幹事 別紙配布

◎委員会報告

- ・「ふるさと七尾の歴史文化伝承プロジェクト」(9/26)出席お願い 寺田地域社会奉仕委員長
- ・月見の夜間例会(9/8)について 茶谷クラブ奉仕委員長
- ・ロータリーの友9月号紹介 井田雑誌小委員長
- ・9月度のお祝い発表 田中親睦活動小委員長

◎出席報告 今井 クラブ奉仕委員

会員総数 44名(内、出席規定適用の免除者3名) 出席者 37名
メク 第3回理事会(8/25)承認分:7/22 井田、川島、田中、中越

◎ニコニコ箱紹介 神前 ニコニコ箱小委員長

- 木下敬夫 長さん 卓話よろしくお願ひします。
- 木下徳泰 涼しくなりましたね。長さん卓話楽しみです。
- 中出 長さん、話楽しみにしています。最近ゴルフの調子はマズマズですが、次回のコンペには残念ながら出場出来ません。ショック!!
- 桑原 恵みの雨も降り続くとイヤですね。新入会員、長さん卓話楽しみです。新鮮な風を吹き込んで下さい。
- 今井 涼しくなりました。アウトドアの秋です。
- 高橋 コルフシーズンに成りました。コンペでも遊びでも元気で芝刈りをしましょう!
- 川島 近頃、寒くなってきました。長さん卓話を楽しみにしています。
- 姥浦敏明 秋の気配が…。長さん卓話たのしみです。
- 姥浦昭二、間蔵、長田、山田、鳥畑、伊藤、勝木、茶谷、魚岸、西野、寺田、松井、森、三井、中越、戸田、久保、井田、松野、山本、神前
- 長さん、卓話ごころう様です。楽しみにしています。
- 長 新入会員卓話は大変に緊張しています。卓話が無事終わり、心の重荷が一つ減ることを願っています。

...9/1月計 34,000円.....累計 354,000円...

◎地区米山委員長会議(8/8)報告 桑原了子直前会長

月	日	曜	プログラム	週報担当
9	8	火	18:30 月見の夜間例会 (料理旅館 七尾城)	井田
9	15	火	クラブフォーラム「ふるさと七尾の歴史文化伝承プロジェクト」(9/26)について	伊藤
9	22	火	法定休会(国民の休日)	—
9	29	火	野外例会 希望の丘公園草むしり (現地集合)	川島
10	6	火	新会員卓話 木村静夫 会員	山本勝義

創立1986年6月15日
RI認証1986年6月26日
【国内第1721】

会 長 木下 敬夫
副 会 長 木下 徳泰
副 会 長 松井 聡
幹 事 中出 信行
広報ニューメンバー委員長 岡崎 敬規



◎新会員卓話 長 高 英 会員



私はみなさまと異なり組織のトップや経営者ではありません。そこで、今回は電気事業の経営者を2人紹介させていただきます。一人目は松永安左エ門です(明治8年長崎県壱岐の生まれ)。慶應義塾を中退後、日本銀行勤務、材木商、石炭商、コークス商などを経て、電力事業に注力します。そして、自ら設立した東邦電力を戦前の五大電力の一つに育てました。

やがて日本は、軍部の統制、経済の国家管理が強まってきました。その中で、松永は自由主義経済が望ましいと考え、民間主導の電力会社再編を主張します。しかし、時代の流れに抗しがたく、電力の国家管理が進みます。昭和14年日本発送電が設立され、昭和17年地域ブロック毎の配電会社による配電事業が開始されました。この頃、松永は全ての事業から身を引きます。

第二次世界大戦後、電気事業の再編成が課題になると74歳の松永が審議会会長に選ばれます。松永は安定した電力確保には電力事業の分割民営化が必要と考えます。一方、日本発送電及び他の委員は日本発送電の独占体制を守る意見、労働組合は国営の主張です。松永はこれら反対を押し切り、昭和26年に分割民営化した9電力体制を作ります。こうした強引さから「電力の鬼」と呼ばれるようになります。

その後も、完全中立を堅持する民間初のシンクタンク・電力中央研究所を設立。さらに、産業計画会議を主宰し、昭和31~43年、東名・名神高速道路計画、東京湾岸道路計画、国鉄改革、専売制度廃止などの先進的な提言を行いました。

このように、民間の力を信頼し、官僚を超える発想・先見性が民間にあることを自ら証明しましたのが、松永安左エ門です。

二人目は弊社初代社長の山田昌作です(明治23年富山市生まれ)。山田は日本海電気という会社を経営していました。特筆すべきは、電源開発を進め、安価な電気料金の提供に努めるとともに、企業誘致全般に絶大な協力を行い、地域経済の発展とともに歩む電力会社経営を行ったことです。「中央の電力会社に任せては、良質な電力を中央の需給に振り向けられてしまい、北陸の産業界は暗澹たるものになる。」との危機感から北陸の電気事業者の合併を進めます。当時の状況を橘川武郎教授は「地域経済と密着した日本海電気の活動によって(五大電力の)日本電力や大同電力の攻勢があったにもかかわらず北陸地方の電気事業は『電力戦』を生き抜き、独自性を維持することができた」と書いています。

その後、既存の発電設備および主要な電力設備を日本発送電一社に帰属させ、配電会社を地区ごとに

つくるという電力国家管理が進められます。全国を8ブロックに分ける政府案に対し、山田は北陸地域の独立を訴えました。北陸の電力会社には自主統合を促しつつ、山田は主務官庁に日参し、北陸の独自性を説きました。その努力により、政府案を覆し、北陸に配電会社が生まれました。戦後の電力再編成の際も、GHQは5または7つの分割案でした。このときも、各県の経済界、大口お客さまなどとともに熱心に活動したことにより、北陸ブロックが認められ、昭和26年に弊社は発足しました。

発足後も、深刻な電力不足に対応するため、当時の資本金の7倍以上の巨費(370億円)を投じた常願寺川有峰発電計画を推進しました。このような水力開発の成功が弊社の低廉な電気料金の大きな力となっております。

山田昌作は、北陸地域の発展と企業としての成長・利益を両立しつつ電力会社の経営を行うとともに、「北陸の開発、発展こそ国家のため」という信念に基づき、政府案を改めるための行動を起こした経営者です。

さて、弊社は志賀原子力発電所の早期再稼働に最優先で取り組んでいます。世界最高水準を目指した安全対策工事は着実に進んでいます。発電所敷地内シームに関しましては、今後、本来の行政手続きである新規制基準への適合性確認審査の場において、これまでの調査結果の再整理やデータの拡充も含め、技術的に考え得る方策を講じたうえで、しっかりとご説明することにより、弊社評価の妥当性について必ずやご理解いただけるよう力を尽くします。

次に、来年4月の小売全面自由化に取り組んでいます。弊社の電気料金は日本一安い水準にあるものの、制度上のあやも北陸でも様々な競争者が現れると思います。まずは弊社の料金が安いことをしっかりとご説明し、『北陸電力ブランド』をより浸透させるとともに、サービスの充実・業務品質の向上などによりお客さまから弊社を選んでいただけるよう努めます。8月から会員サービスも開始しています。

さらに、高度成長期に施設した流通設備の更新が今後ピークを迎えることを踏まえ、設備の機能維持を計画的に実施することが必要です。

いずれも大きな課題であります。しかし、弊社は発足時から、その前身の時代から、いくつもの困難を地域のみなさまのお力を借りながら、知恵と努力で乗り越えてきました。今後も、企業家精神を最大限発揮しつつ、電気の安定供給という使命と地域との深いつながりを大切に先人たちの精神を忘れずに歩み、直面する課題を解決していきます。みなさまのお力添えをぜひともお願いいたします。

みなさまの会社・組織にも創業や中興のご苦労を伝えるお話しがあるとと思います。折に触れ、それらをぜひ教えていただければと思います。

◎閉会点鐘

次週予告

9月15日(火) 12:30開会点鐘 番伊

クラブフォーラム『ふるさと七尾の歴史文化伝承プロジェクト』

今週の例会担当者： クラブ奉仕委員 (9/8)

次週の例会担当者： 山田、奥井、須曾、今井 (9/15)